

# 雜 錄

## パリ國民圖書館所藏

### 安南本目錄

山 本 達 郎

パリの國民圖書館 (Bibliothèque Nationale) には可成りな數の安南本の蒐集がある。此の圖書館では東洋の諸國語で書かれた書物を、刊本寫本の區別なく皆「寫本部」の所屬と爲してをり、安南本もやはりこの寫本部の所管となつてゐる。私は一九五一年から五二年にかけてパリに滞在中、この安南本に就いて一應の調査を試みた。從來この圖書館では安南本は漢籍の一部の如くに扱はれてをり、一九五一年九月に私が始めて閲覽に赴いた頃にはまだ目錄の備附けもなく、

圖書館では黃春瀚 Hoàng Xuân-Hàn 氏の協力を得て分類中であり、私は寫本部主任の Guignard 夫人並びに係の

Seguy 嬢の好意で整理中の安南本を閲覽したのであるが、私がパリ滞在中に閲覽室備附けの目錄 Catalogue du Fonds annamite, が作られた。この目錄は三部に分類され、

Annamite A : textes écrits en caractères chinois.

Annamite B : textes en caractères annamites ch'âm.

nôm.

Annamite C : textes en quốc-ngữ.

となつてゐるが、ローマ字化されたCはまだ一部もなく、書名のあるのはA Bのみである。以下に掲げる目錄もAとBである。

私は細かい書誌學的研究を企圖したものではなく、同圖書館安南本蒐集の概要を紹介し、若干の説明を附したに過ぎない。書き漏しが多く、説明の頗る不統一な點、讀者の御諒承を得たい。こゝに閲覽の爲に種々便宜を與へられた Guignard 夫人、Seguy 嬢、目錄の作成に當られた黃春瀚氏、又私のパリ留學の爲に援助された Rockefeller 財團に對して感謝を捧げる。以下の私の記述は、特に字喃本の場合に、黃春瀚氏

の調査に負ふ所が多い、調査は一九五二年十月五日現在である。

# Annamite A (漢文書籍) 目錄

## A1 皇越律例 六冊 版

表紙には嘉隆十二年(A. D. 1813)領行とあり、その裏には「□慶貳年拾壹月拾捌日」とあり、同慶二年(1886)の印刷と見做される。初に御製皇越律例序・律目・諸圖がある。本来二二卷であるが、卷二二二〇の計九卷を缺く。

## A2 皇越律例 二冊 版

素紙に「Cochinchine Française 大富浪沙印本頒給 □□衙奉守 Code annamite 1863」とあり、フランスがその交趾支那統治の必要から頒給したものだと思はれる。嘉隆十一年(1812)六月の序及び奏疏・諸圖がある。

## A3 皇越律例 三冊 版

表紙に「Don du Gouverneur de la Cochinchine, Code Chinois, 11 fascicules, imprimés sur papier de riz à

Hong-Kong aux frais du Gouvernement de la Cochinchine」とあり、A1, A2とは異なる洋紙が用ひられてゐる。

## A4 欽定越史通鑑綱目 版

前編五卷・正編四七卷。黎愍帝昭統三年(1789)に終る。

E. Gaspardone, Bibliographie annamite, BEFEO, XXXIV, 1935, p. 67. 参照。

## A5 欽定越史通鑑綱目 八冊 版

## A6 大南正編列傳初集 三冊 版

嗣德五年(1862)三月二十九日の表文、凡例・識名あり。

松本信廣、安南史研究上の二資料、史學、一五卷一號、昭和十一年、(1936)一三八—一四〇頁、参照。

## A7 欽定越史通鑑綱目 版

前編五卷・正編四七卷であるが、三〇・四三・四四・四五の四卷を缺く。

## A8 欽定大南會典事例 二〇冊 版

最初に紹治三年(1843)六月上諭を奉じて編纂に従事した由を記した諭序があり(嗣德四年(1851))、次いで四つの

疏を掲げてゐる。疏の第一は嗣德三年(1860)十二月初七日、第二は同二十八日、第三は嗣德四年(1861)十二月二十一日の日附がある。次の凡例には「此次修輯邇自嘉隆元年(1802)至嗣德四年一切事例」といふ文字がある。目録によると内容の区分は、尊人府卷一—四、機密院卷五、集賢院

卷六、吏部卷七—三五、戸部卷三六—六八、禮部卷六九—

一三六、兵部卷一三七—一七八、刑部卷一七九—二〇四、

工部卷二〇五—二三三、内閣卷二四—二二六、都察院卷

二二七—二三〇、通政使司卷二三一、大理寺卷二三二、と

し、更に謹信司其他の官廳を卷二三三以下に掲げてゐる。

第一冊は卷一—一二、二冊は卷一三—二八、三冊は卷二九

—四二、四冊は卷四三—五三、五冊は卷五四—六五、六冊

は卷六六—八三、七冊は卷八四—九七、八冊は卷九八—一

一〇、九冊は卷一一—一二七、一〇冊は卷一二八—一四

一、一一冊は卷一四二—一五四、一二冊は卷一五五—一六

八、一三冊は卷一六九—一八〇、一四冊は卷一八一—一九

三、一五冊は卷一九四—二〇四、一六冊は卷二〇五—二一

六、一七冊は卷二二七—二三八、一八冊は卷二二九—二四〇、一九冊は卷二四一—二五三、二〇冊は卷二五四—二六〇。

A9 歷朝憲章類誌 一四冊 寫

四九卷。潘輝注の著。Gaspardone, Bibliographie, pp. 7—

11, 31—32. 参照。

A10 「明命二十一年(1840)平定省財政關係文書」

一冊 寫 四二葉

A11 約亭詩鈔 二冊 寫

二卷。「皇六十六子綿蒙字君公號約亭」の詩鈔、「倉山先生批評、

葦野先生批評鑒定」「成泰辛丑(1901)孟春吉日新鐫、翼

經樓藏板」。

A12 葦野合集

綏理公綿寅の詩文集。A13と同じであるが、唯その中の

「文一」のみを存す。

A13 葦野合集 三冊 版

嗣德二十八年(1875)の序と、辛巳(1881)季夏の清の王先

謙の序がある。「皇十一子綿寅季仲著 子洪藩國卿同校」。

嗣德乙亥(1875)鐫とあり、王先謙の序は後に加へられた

もの。第一冊は卷首一、第二冊は詩一―五、第三冊は文一―五。

# A14 御製越史總詠

十卷。嗣德帝の序は「嗣德二十七年(1874)六月初五日」、

表は嗣德參拾年(1877)正月拾五日の日附となつてゐる。

表には阮述・黎玳・吳季侗・尊室濯の名を列ねてゐる。

「臣綿寅奉閱」と墨書してある。

# A15 四體筆式 一冊 版

「嗣德貳拾貳年(1869)夏月吉日新鑄」「柳號文堂重訂、

石橋范徴遺刻」。楷行草隸の四體を示す。一四葉。

# A16 千字文解音 一冊 版

「成泰庚寅年(1890)孟春上浣新刊」「觀文堂藏板」。千字

文に字喃を以て各の文字の意義を傍記したもの。一二葉。

# A17 字學求精歌 一冊 版

嗣德庚辰(1880)春、福壽堂藏板。杜輝琬(圓圭)編輯、

阮子恣増訂音註、蘇叔達増補音義校梓。字畫の紛らほしいものを區別する爲の歌、特に科擧の爲に。一九葉。

# A18 撫邊雜錄 一冊 寫

景興三十七年(1776)八月之望の黎九厚(貴惇)の序がある。廣南・順化方面の地理・行政などを記す。元來六卷であるが、本書には卷四以下を缺く。Gaspardone, Bibliographie, p. 25. 参照。

# A19 歷朝雜錄 一冊 寫

陳朝・黎朝時代の人物に關する種々の傳へを收めてゐる。

或は十八世紀中葉頃に作られたものか。

# A20 大南列傳前編

嘉隆帝即位以前の阮氏を中心とする列傳記事。松本、安南

史研究上の二資料、一三五頁、参照。

# A21 大南正編列傳初集

松本、二資料、一三八―一四〇頁、参照。

# A22 南國偉人傳 一冊 寫

帝王、宗臣・文臣・武將の各項に分け、前李南帝に始まる

簡単な傳記。恐らくは東京義塾の刊行したものであらう。

一一・一二葉。

A23 御駕如西記 一冊 版

1922年に行はれた啓定帝の西方旅行の有様を記したもの。

A24 四旬大慶節<sup>(祝)</sup>加表

啓定甲子年(1924)に北圻の官員が啓定帝の四十歳の誕辰を祝して奉じた賀表。

A25 撫蠻雜錄 一冊 版

嗣德二十四年(1871)と成泰十年(1898)の序がある。

A26 大南寔錄正編 一冊 版

「歲在癸酉(1873)新鐫」、「嘉定城惟明氏訂正、一在提岸和源盛發客」、「<sup>佛鎮福</sup>粵東 金玉樓藏板」といふ。序

に「癸酉年端陽後、大富浪沙國嘉定帥府叅辦官蘆嘉陵謹叙、

嘉定城鳳油里惟明氏攷校」とあり。

A27 和約書 一冊 版

降主壹千捌百陸拾貳年陸月初伍日、即嗣德拾伍年伍月初玖日に大富浪沙國(フランス)・大衣坡儒國(スペイン)・

大南國の三國間に結ばれた和約の書。八葉。

A28 和約書 一冊 版

A27 と同し。

A29 御製越史總詠集 一冊 版

十卷。A14と同じ。卷一帝王上、卷二帝王下、卷三后妃・尊臣、卷四賢臣、卷五忠義、卷六文臣、卷七武將、卷八列女・僭僞・姦臣、卷九・卷十佳事補詠となつてゐる。A29は嗣德帝が Philastre と贈つた一本である。

A30 欽定越史通鑑綱目 八冊 版

第一冊は前編卷一―五、二冊は正編卷一―六、三冊は卷七―一二、四冊は卷一三―二〇、五冊は卷二一―二六、六冊は卷二七―三四、七冊は卷三五―四〇、八冊は卷四一―四七。

A31 大越史記全書 七冊 版

第一冊は外紀卷一―五、二冊は本紀卷一―四、三冊は卷五―九、四冊は卷一〇―一一、五冊は卷一二―一三、六冊は卷一四―一六、七冊は卷一七―一九。Gaspardone,

Bibliographie, pp. 51—65. 参照。

A32 通國土産 一冊 寫

國內の産物を列舉し、漢名を掲げてをり、安南名を附してあるものもある。續いて通國礦産・河堤考がある。

A33 三教正度實錄 一冊 版

儒佛道三教の葬禮などの儀式の次第書で、性證によつて再刊されたもの。緣明寺藏板。

A34 楊節演義 一冊 版

儒教道德を子供の爲に述べたもので、漢文の外安南語譯を附す。河内正文堂出版。

A35 策學提綱 版

十卷。明命拾捌年(1837)孟春月、作新堂「とあり。元の祝堯の原作。永盛九年癸巳歲(1713)の阮儔の跋がある。

A36 三教正度輯要 一冊 版

「正大」著。「玉利」刊。儒佛道三教の埋葬などの禮を示す。

A37 勸考書 版

嗣德二十三年(1870)刊。恐らく河内の玉山祠藏板であらう。

A38 鎮武觀錄

鎮武觀即ち所謂 Pagode du grand Buddha の記載。G. Dumoutier, Le Grand-Buddha de Hanoi. Hanoi, 1888. 参照。

A39 佛像量度經 一冊 版

漢譯に安南語の略解を附す。闍法寺藏板。

A40 安像三昧儀軌經 一冊 版

闍法寺藏板。Trần-vân Giáp, Contribution à l'Etude des livres bouddhiques annamites conservés à l'Ecole Française d'Extrême-Orient, p. 23.

A41 新訂萬事不求人書 一冊 版

成泰十三年(1901)刊。河内柳文堂。

A42 南圻六省報 一冊 版

五號分を一冊に綴じてある。1872—1873. 最後の一號には「嘉定報」とある。六四葉。

# A43 嘉定報

1862 壬戌年、四月初壹日報（八葉、同じもの三部）、五月初壹日報（八葉、三部）、六月初壹日報（五葉、三部）、七月初壹日報（七葉、四部）、八月初壹日報（六葉、四部）、九月初壹日報（六葉、三部）、十月初壹日報（七葉、三部）、十一月初壹日報（六葉、三部）、十二月初壹日報（六葉、三部）、1863 癸亥年、一月初壹日報（六葉、三部）、十一月初壹日報（九葉、三部）、三月初壹日報（八葉、三部）。1862 の八月・九月號には「八月初一日報譯富浪沙音」といひ、原文がフランス語であつた事を示す。全體を通じて内容は公文と雜務の二項に分かれてゐる。

# A44 「印譜」 一冊

堤岸の篆刻家の印譜。

# A45 小學本國風俗 一冊 版

段展著、杜文心訂。一九一〇年頃。

# A46 (1) 黎朝鄉選 版

皇朝明命柒年（1826）鐫、同文堂。七卷中卷五を缺く。卷

一は景興四年（1743）・八年（1747）の科、卷二は十一年（1750）・十四年（1753）の科、卷三は十七年（1756）・二十年（1759）の科、卷四は二十三年（1762）・二十六年（1765）の科、卷六は三十五年（1774）・三十八年（1777）の科、卷七は四十年（1779）・四十一年（1780）・四十四年（1783）の科に關する記載がある。A46 の第一（1—16）。

# A46 (2) 「新科會文選」

この一冊中に「紹治元年（1841）閏三月吉日新刊、新科會文選、長文堂藏板」「辛丑（1841）恩科、鄉試文選、郁文堂藏板」「紹治貳年（1842）壬寅科、鄉試文選、長文堂藏板」などとみえる扉があり、明命二十二年（1840）の鄉試、紹治元年（1841）の會試庭試、紹治二年（1842）の鄉試、三年（1843）會試庭試の記事を載せてゐる。

二九・二五・一三・九・一〇・二五・二二・一六・一三・五一・六・六・一六葉。A46 の第二（七一—一〇）。

# A46 (3) 「新科會鄉文選」

「紹治參年（1843）五月癸卯科會庭鄉試合選、新科會鄉文、

選、長文堂藏板」・「紹治四年(1844)參月甲辰科會庭試合

選、會庭試文選、長文堂新刊」・「丙午(1846)恩科、鄉試

文選、郁文堂承抄」・「紹治七年、丁未(1847)科鄉試、

鄉試文選、郁文堂承抄」の扉があり、その他戊申(1848)科

會試、丁未の會試・庭文の記事もある。A46の第三(一一

一六)。

#### A46 (4) 「鄉試文選」

「皇朝嗣德元年(1838)、戊申(1848)科鄉試、鄉試文選、

郁文堂藏板」・「嗣德參年(1850)新鐫、庚戌科、鄉試文選、

柳文堂承抄」・「嗣德四年(1851)新鐫、會試文選、柳文堂

承抄」・「嗣德五年(1852)季科、鄉試文選(承天場・乂安

場・河内場・南定場)」・「嗣德陸年(1853)會試文選、癸

丑科」があり、また嗣德貳年己酉(1849)恩科の會試・庭

試の記事がある。最後に置かれてゐる「嗣德五年(1852)五

月鐫、琳瑯應制集」は集賢院擬撰とあり、何年の科と限ら

ない模範文例集である。

#### A47 大「富」浪沙歲次丙寅協紀曆 一冊 版

嘉定城携、西南通書とあり、1866年のグレゴリオ曆と安南の協紀曆とを對照せしめたもの、字喃、西洋數字を交へてゐる。

#### A48 「文書」 一葉 寫

Phnom Penh に於て醫師を求めることを命じたもの。

#### A49 河内城碑記 一冊

#### A50 大南輿地誌約編 五冊 寫

五卷。高春育の序(1908)あり。

#### A51 Décrets impériaux (勅書) 一冊

二つあり。(A) 紹治元年(1841)三月二十五日、明命帝に諡號を奉るに際しての勅。(B) 嗣德五年(1852)三月二日の勅で、南圻の官民に對し役の輕減をいひ、天主教を批判し、民に傳統のある道德を守り、鄉村に留つて農耕に従ふべき事、其他を説いたもの。

#### A52 三千字解音 一冊 版

漢字に安南音を配して記憶に便ならしめたもの。別名字學纂要。成泰三年(1891)刊、富文堂藏板。



A53 大南寔錄前編

第一冊は卷一・二、二冊は卷三・四、三冊は卷五・六、四冊は卷七・八、五冊は卷九・一〇、六冊は卷一一・一二。松本、安南史研究上の二資料、一三三—一三四頁、参照。

A54 三千字解音

別名、字學纂要。

A55 幼學五言詩

A56 三字經釋義

別名、三字經註解。B27 参照。

A57 初學問津

B26 参照。

A58 明心寶鑑釋義 一冊 版

字喃の譯文を附す。同慶四年 (1888) 刊。

A59 陽節演義 一冊 版

字喃の逐語譯を附す。同慶二年 (1886) 刊。同文堂藏板。

A60 金雲翹錄 一冊 版

同慶四年 (1888) 刊。

A61 大南寔錄正編 三冊 寫

三卷。版本 (A26) に基いた寫本 (1900)。

A62 皇黎一統志 二冊 寫

黎朝後期を題材とした歴史小説。十七回に分かれてゐる。

A63 吳家文派 一八冊 寫

河東省青威の吳氏の、十八世紀末十九世紀初にかけて生存した人々の作品集。

A64 鳳山祠志畧 一冊 版

三卷。鳳山祠は陳朝の儒者朱文貞の爲に阮定甫等によつて建つた。紹治二年 (1842) の阮文理の序、紹治元年 (1841) の著者阮定甫の引がある。成泰十六年 (1904) 刊。

A65 大南一統志 一冊 寫

大南一統志の清化省の部分のみ。

Annamite B (字喃書籍) 目錄

B1 德主支秋

五冊を一冊に綴じてある。卷二・三・四・七・八・九・一

○があり、卷一・五・六を缺く。耶蘇傳 (De Vita Christi)。支秋はキリストである。支秋會士岐咄尼模埋烏移歌 (Jeronimo Maijorica) 述。扉の左上に “Semre des missions Etrangères” と書かれてゐる所からみると、もと海外傳道協會 (Société des Missions Etrangères de Paris) 神學校 (Séminaire) の圖書であつたか、或は同協會からの寄贈又は購入本であらう。B1以下B17までは一群の初朝天主教傳道關係の字喃文獻である。

B2 傳德主枝秋卷之貳 一冊 寫

Jeronimo Maijorica の De Vita Christi の一部。最後に「歲次戊申年十月記」とあるのは、或は一七二八年或は一七八八年に當るのであらうか。B1 よりも後の寫本か。

B3 De Eucharistia

書名著者名なし。聖餐關係の文獻でキリストの言葉に續いて祈禱文を掲げる。終の部分は聖者の事蹟を述べた記事。

B4

B5 聖教要理國語 一冊 版

漢文で書かれた聖教引言 (序、降生一千八百三十七年) と目錄がある。五六葉。内容は、天主一體、降生求世、死期有定、人生罪種、聖秘跡論、聖體解論、告解解論、告明補贖、終傳神品、十誠解義、會聖條律、天主經解、聖母經解、正役教友、經畧連禮、經姿連禮に分かれてゐる。

B6 天主聖教啓蒙 一冊 寫

天主教の教理に關する問答。序によると著者は魯波蘇波羅眉奴で、字喃の譯者は技由尼模 (Jeronimo) であると云ふ。扉の左上端には B1 と同様に “Semre des Missions Etrangères” とある。

B7 「經仍祀務復生卷之三」 一冊 寫

復活祭の祈禱書。卷末に安尊 (Antoine) なる者が筆寫した由を記す。

B8 (祭式の書) 一冊 寫

卷之貳とある所から始まる。天主教の種々の儀式に關する説明と祈禱文を収める。

B9 吟禮重務復生旦倘訛 一冊 寫

Ngâm lễ trong mùa Phục-sinh đến tháng bảy. 復活

祭から七月までの重要な祭日の祈禱の書。次の B10 と同じ性質の書物で、書體に差はあるが、或は本來同一の起原と見做すことも出来よう。

B10 仍條吟中各時礼重 一冊 寫

Những điều ngâm trong các ngày lễ trong, Meditations de Dominicus Primae Classis. 卷之 1。重要な祭日の祈禱書。祭日を説明し祈禱文を掲げる。扉に「演州府瑠懸務悦社光明聖高主天上帝…」などの文字がみえてゐる。所からすると、同書は或は父安省 (Province Nghé-an) 地方で作られたものではないかと推測される。

B11 天主聖母中卷 一冊 寫

瑪移阿 (Maria) の傳。次の B12 の續きと見えてゐる。筆寫者も同じく「文嚴」である。十三章に分かれてゐる。

B12 天主聖母上卷 一冊 寫

枝秋會士支由尼謨梅烏移歌 (Jeronimo Maijorica) 述。B1, B2 のキリスト傳と共に一聯の作を爲す。「文嚴」筆寫。

十七・八世紀の寫本であらうか。

B13 「各聖傳」 二冊 寫

Vita Sanctorum. 支由尼模梅烏移歌の著。一年を通じて毎日の聖人の傳を記す。第一冊には五冊 (一月から五月まで)、第二冊には六冊 (七月から十二月まで) の小冊子を綴じてある。最後にみえる慶方二年 (1650) とし、4 年號によつてその著作の時期が知られる。

B14 — 一冊 寫

題を缺く。聖人の傳。恐らく五月の各日に配した聖人の傳を集めたものであらう。

B15 妃圣衣沙爲寡皇后渚秋生吹亞傳 一冊 寫

“Abrégé de l'histoire de Saint Elisabeth de Hongrie, Duchesse de Thuringe, par M. le Comte de Montalembert, Pair de France; traduit du français en Tonguinouis par M. l'abbé C. Masson, missionnaire et pro-vicaire apostolique au Tong-king, Janvier—1848.” 述。B16 翁聖衣那板傳

“La Vie de St. Ignace.” 後の部分は翁聖潘支姑車爲味傳  
(La Vie de St. Francois Xavier) による。

B17 —

天主教の禮拜祈禱に關する書。十八世紀又はそれ以前の筆  
寫。

B18 策嚶道聖主懋 一冊 寫

天主教の祈念の書であるが、言語は或は Tho (フ) である  
かも知れない。

B19 眞道要理 一冊 版

扉裏に「天主降生一千八百廿九載、監牧嘉姑陂刪述傳梓、  
天主堂錦山場重梓」とあり Evêque Jacobi の著。一三〇  
葉。

B20 陽節演義 一冊 版

儒教道德の初歩を教へるもの。漢文を本文として字喃を傍  
記する。同慶元年 (1885) 春新刊、同文堂藏板。三〇葉。

B21 壽梅家禮 一冊 版

胡嘉賓 (壽梅居士) 著。盛泰丁酉 (1897) 仲秋吉日重刊、

盛美堂藏板。六六葉。

B22 醫僧問答 一冊 寫

醫士阮伯遠未定草。末尾に「河内行棧東京印館藏板」とあ  
り。新飛癸亥 (1923?) 孟春といふ。六・八言の詩形。

B23 a 高王觀世音眞經

b 德婆伏傳 南海觀音伏事跡歌

} 一冊 版

a は漢文 (一〇葉)、b が字喃 (四二葉) で六・八言の詩  
形。最初と最後に「觀世音聖像」と題する文がある。河内  
省演慶寺藏板。

B24 觀音賦 一冊 版

六葉。

B25 Calendrier Francais-Annamite pour l'année

1863 一冊 版

「西南通書嘉定、柴楮 皇帝印本」。A47 と同様の書。

B26 初學問津 一冊 版

嗣德壬午 (1882) 孟冬新刊、長文堂藏板。四字に切つた漢  
文本文に對して字喃を行間に附す。一八葉。A57 參照。

B27 三字經釋義 一冊 寫

癸酉之歲(1873)貳月既望重訂、校文堂藏板。本文漢文。行間に字喃を附す。一二葉。A56 参照。

B28 天南四字經 一冊 寫

嗣德甲戌(1873)孟冬新刊、盛文堂藏板。「舊本刊刻舛誤者多、今悉依天眞居士正本逐句改正」。四字一句の漢文本に字喃を附す。時に漢文の註あり。安南の歴史を扱ふ。

B29 九章立成併法 一冊 版

算法の手引書。一二葉、小型。

B30 宋志傳 一冊 版

六・八言の句形でシナの歴史小説を譯したもの。書體も言語も古く。或は十七世紀位のものか。

B31 Recueil de coutumes 寫

「乂安省」興元府宜祿縣金原總所屬の各地の報告。「六十款」に互る調査質問に對する答申である。最初は金溪社

上村のもので、維新五年(1911)閏陸月の奉開、里長丁文槐の他に舊里長・郷目・舊副里の署名があり、他の村社の

パリ國民圖書館所藏安南本目錄 山本

ものも略この形である。(1)金溪社上村に次いで、(2)奇福社・(3)錦場社・(4)金原社・(5)高舍社・(6)中村・(7)社兌村・(8)安樂社・(9)智水社・(10)祿美村・(11)玉璉村・(12)網兒坊・(13)忠厚社の記載がある。

B32 Recueil de coutumes 寫

宜祿縣安陽總の「六十九疑」の答申。維新五年閏陸月でB31と一連の書。(1)安陽村・(2)安睿村・(3)安榮村・(4)永安社・(5)安盛村・(6)安場社東安村・(7)祿多社・(8)恩厚社・(9)中美村・(10)南康村・(11)安勇下・(12)春臺村・(13)春柳村・(14)德盛廊・(15)德美村・(16)安代村・(17)梧場村・(18)潘村・(19)吳舍村・(20)安舍村・(21)安留社・(22)美厚廊・(23)德光社・(24)春安社・(25)安盛水居坊の記載がある。

B33 Recueil de coutumes 寫

同知領興元府知府尊室椿の名で報告された興元府地方の慣習。

B34 Recueil de coutumes 寫

乂安省の報告であるが地點判明せず。

B35 Recueil de coutumes 寫

B34と同様であるが、質問の數もA32の六十九とは異り

「飢迎脛」(八十九)となつてゐる。

B36 Recueil de croyances 寫

「父安省」興元府海都總黃益社魯田廊の里長潘文儉等による維新五年(1911)柒月初陸日の答申。

B37 Recueil de croyances

地點が記されてゐない。

B38 Recueil de croyances 寫

「父安省」濱州府東城縣高舍總儒林社官紳豪里士民等の答へたもの。維新陸年(1912)貳月貳拾日の日附で副里長高春標の署名あり。

B39 Recueil de coutumes? 寫

B38と一聯の書。儒林社の記事で日附署名者も同じ。質問八十九款に答へたもの。

B40 Croyances populaires 六冊 寫

南壇縣大同總錦文村の報告。父安省でOrierによつて行

はれた調査の答申。第一冊は日月星辰開本(維新五年(19

11)捌月貳拾捌日の日附あり)、第二冊は八十九款開本、

第三冊は妖魔開本、第四冊は草木開本、第五冊は鳥獸開本、

第六冊は草木開本となつてゐる。

B41 Recueil de chansons populaires 四冊 寫

白河總の答申。九編に分かれてゐる。

B42 Recueil de chansons populaires 五冊 寫

父安省濱州府瓊瑠縣の答申。「領瓊瑠訓導阮驥奉編」とあり。

B43 Recueil de chansons populaires 四冊 寫

朗田の民謡を報告したもの。阮玉瑀奉編とあり。九編に分かれてゐる。

B44 Recueil de chansons populaires 三冊 寫

興元府に於ける調査の答申。編者は阮侃如。序は維新五年(1911)八月八日。九編に分かれてゐる。

B45 Recueil de chansons populaires 二冊 寫

安城の民謡を報告したもの。「訓導范奇選奉編」とある。

九編。

B46 Recueil de chansons populaires 三冊 寫

南壇縣の調査答申。「南壇訓導奉遞」とあり。九編。

B47 Recueil de chansons populaires 四冊 寫

英山府の調査答申。「英教黎文練奉編輯」とあり。九編。

B48 Recueil de chansons populaires 四冊 寫

英山府梁山縣純忠總の調査答申。序には維新五年(1911)

玖月拾日、純忠總師秀才阮鄧瑛記」とあり、拾五卷と爲したといふ。

B49 (1, 2) Recueil de chansons populaires 二冊 寫

「英山府」清漳縣の調査答申。「教授領清漳縣訓導黎輝輯

奉編」とあり。九編。

B49 (3, 4, 5) Recueil de chansons populaires 三冊 寫

宜祿縣の調査答申。九編。

B50 Recueil de chansons populaires 四冊 寫

濱州府の調査答申。「翰林院著作領濱州府教授阮春魁」

編。四卷と爲す。

B51 Recueil de chansons populaires 一冊 寫

著者も地點も明かでない。「第貳卷」「第參卷」のみ。

B52 Recueil de chansons populaires 一冊 寫

都梁總の調査答申。「都梁總場教師秀才黃陳超奉編」。

B53 清化觀風 一冊 版

成泰萬年甲辰(1904)冬、海陽柳文堂新鐫、鶴城密多寺藏

板。「成泰十五年(1903)冬至後五日」の王維楨の引がある。

B54 三字經解音演歌 一冊 版

漢文に字喃の逐語譯と、六・八言の詩形の意譯とを附す。

同慶三年(1887)新鐫、盛文堂藏板。

B55 女子好士辭農賦 一冊 版

成泰己丑(1889)夏、柳文堂新板。六葉、小型本。

B56 主浴古傳 一冊 版

六・八言の韻文による歴史小説。十三葉、小型。

B57 張留侯賦 一冊 版

「翁貢整撰」大著堂藏板。八葉、小型。

B58 韓王孫賦 一冊 版

韓信の傳を歌ふ。六葉、小型。

B59 翠翹詩集 一冊 版

全體を三十五段に分ける。十一葉、小型。

B60 祭鴉片文 一冊 版

五葉、小型。

B61 海南祭文

海南の女子の弔辭。七葉、小型。

B62 征婦吟

鄧陳琨の漢文で書いたものの字喃譯。一九葉、小型。上下

二段に分けて漢文と字喃とを對照せしめる。長盛堂藏板。

B63 秋夜旅懷吟 一冊 版

成泰王寅(1902)冬刻、長盛堂藏板。一一葉、小型。漢文

と字喃とを上下二段に對照せしめてゐる。

B64 玉嬌梨新傳 一冊 版

「同慶戊子(1888)孟秋新刊、湖永參知李公(李文馥)撰 河

盛文號藏板」。シナ小説を六・八言の韻文で譯したもの。

B65 皇儲傳 一冊 版

成泰貳年(1890)新刊、觀文堂藏板。六・八言の韻文。三

四葉、小型。

B66 觀音註解新傳 一冊 寫

嗣德戊辰(1868)孟春新刊、盛文堂藏板。六・八言の韻文。

一二七葉、小型。

B67 春情想望 一冊 寫

嗣德辛未(1871)孟秋新刊、同文堂藏板。六・八言、續

て七言の韻文。八葉、小型。

B68 月花問答 一冊 寫

成泰十七年(1905)菊月新刊、男女青年間交互に謠ふ歌問

答。三三葉、小型。

B69 金雲翹賦 一冊 版

金雲翹の物語を簡略に賦としたもの。六葉、小型。

B70 四靈傳 一冊 版

成泰拾壹年(1899)新刊、觀文堂藏板。四人の人物の傳、

六・八言の韻文の小説。二二葉、小型。



B71 觀音送子本行 一冊 版

成泰甲午(1894) 觀文堂藏板。六・八言韻文の小説。二八

葉、小型。

B72 女劉將傳 一冊 版

海陽刊刻重板、嗣德庚辰年(1880) 仲秋元吉、柳文堂藏板。

六・八言韻文の小説。所々に詩云として七言の八句又は十六句の詩が挿入されてゐる。四六葉、小型。

B73 地藏本行 一冊 版

嗣德二十八年(1875) 孟春重刊、盛文堂藏本。六・八言韻

文の小説。二三葉、小型。

B74 翠山秋夢記  
五倫曲 一冊 版

後者は六・八言と七・七言を交互に用ひた韻文。計六葉、小型。

B75 潘陳傳 一冊 版

成泰壬寅(1902) 秋新刊、盛文堂藏板。六・八言韻文の小説。一一葉、小型。

B76 范公新傳 一冊 版

己丑年(1889) 新鐫、成泰元年、同文堂藏板。六・八言韻文の小説。五三葉。

B77 芙蓉新傳 一冊 版

四岐竹林居士撰。嗣德己卯(1879) 仲秋、福文堂藏板。六

・八言韻文の小説。二五葉、小型。

B78 李公新傳 一冊 版

嗣德己卯(1879) 春刊。城文堂藏板。六・八言韻文の小説。

三六葉、小型。

B79 撞鐘新傳 一冊 版

六・八言韻文の小説。三三葉、小型。

B80 林泉奇遇 一冊 版

成泰十壹年己亥(1889) 秋新鐫。七・七言。女に化した白猿の物語。三三葉。

B81 鞞軍新傳 一冊 版

成泰乙巳年(1905) 刊、[河内] 盛美堂藏板。青年男女の交互に謡ふ歌。一〇葉、小型。

B82 蛭花新傳 一冊 版

成泰八年(1886)新刊、盛文堂藏板。蝶と花との對話。六・

八言韻文。六葉、小型。

は川の名。六・八言韻文。一四葉、小型。

B83 南無新傳 一冊 版

B89 貞鼠傳 一冊 版

成泰丙申年(1896)孟冬新刊、福文堂藏板。佛僧の物語、諷刺。四葉、小型。

嗣德乙亥(1875)春刊、大著堂藏板。六・八言韻文の寓話小説。一九葉、小型。

B84 劉平賦 一冊 版

B90 芳花新傳 一冊 版

戯曲。六葉、小型。

成泰辛丑年(1901)、盛美堂藏板。六・八言韻文の小説。一六葉、小型。

B85 五更夜感情人 一冊 版

B91 有薊傳 一冊 版

嗣德癸酉(1873)新刊、范齋藏板。七葉、小型。

六・八言韻文、一三葉、小型。

B86 劉平演歌 一冊 版

B92 宮怨吟曲 一冊 版

成泰丙午(1906)春新刻。二人の友人の物語、戯曲。一六葉、小型。

嗣德拾玖年(1886)新刊、河富文堂藏板。溫如侯撰。一〇葉、小型。

B87 中軍對歌 一冊 版

B93 征婦吟 一冊 版

嗣德己卯(1879)春重鐫新板。阮翹<sup>2</sup>作、杜夏川潤正、「三望亭禮門堂<sup>河内</sup>」藏板。六・八言韻文の小説。一四葉、小型。

六・八言韻文。五葉、小型。

B88 碧溝奇遇 一冊 版

B94 花情新傳 一冊 版

嗣德貳拾年歲在癸酉(1873)仲夏吉日、錦文堂藏板。碧溝

B95 翁寧古傳 一冊 版

戀愛歌。六葉、小型。

一六葉、小型。

B96 黃秀新傳 一冊 版

嗣德辛巳 (1881) 秋新刊、盛文堂藏板。六・八言韻文の小  
説。二三葉、小型。

B97 金翹演歌 一冊 版

成泰丙午年 (1906) 刊、盛美堂藏板。金雲翹に關聯した諸  
種の歌。六葉、小型。

B98 花箋潤正 一冊 版

嗣德乙亥 (1875) 仲秋新刊。杜夏川校、禮堂藏板。

B99 金雲翹案 一冊 版

清化參協阮文勝撰、嗣德元年 (1848) 一陽月中浣新鐫。金  
雲翹に現れる人物評。一二葉、小型。

B100 五更賦 一冊 版

最後には羣翹に關する三つの歌あり。六葉、小型。

B101 風情新傳 一冊 版

成泰甲辰 (1904) 冬刊。六・八言韻文。一四葉、小型。

B102 選夫誤配新傳 一冊 版

「嗣德三十三年 (1880) 新鐫、黎氏校訂、玉眞河錦文堂藏  
板」。六・八言韻文。一九葉小型。

B103 斷腸新聲 一冊 版

金雲翹の別名。阮攸著、武楨墨評、阮亮朱評、喬瑩慈注釋。  
「成泰壬寅 (1902) 中秋望」刊。六・八言韻文。八、八二葉。

B104 金雲翹新集 一冊 版

成泰丙午 (1906) 仲夏、觀文堂藏板。六・八言韻文。物語  
中の人物に關する評詩が挿入されてゐる。一〇二葉。

B105 二度梅潤正 一冊 版

別名、忠孝節義錄。成泰丁未 (1907) 春刊、觀文堂藏板。  
六・八言韻文。八、九五葉。

B106 名家國音 一冊 版

三つの作を含む。(1) 征婦吟備錄。鄧陳琨著、段氏點演音。  
成泰壬寅 (1902) 菊日刊、隆和號藏板。三三葉。(2) 潘陳傳  
重閱。蓮庵著。成泰甲辰 (1904) 刊、隆和號藏板。三二葉。

(3) 宮怨吟。成泰壬寅 (1902) 刊、隆和號藏板。一一葉。

B107 穢軍新傳 一冊 版

成泰乙巳年(1905)刊、卷二、盛美堂藏板。一四葉、小型。

B108 有才新傳 一册 版

六・八言韻文。二三葉。

パリ國民圖書館所藏の安南本は以上の如きものであり、Bに就いては天主教市教關係の字喃翻譯の文獻、父安省などの方面の民俗調査の答申書、韻文で書かれた小説の小冊子が各一群を爲してゐることが注意される。

國民圖書館以外に、パリで安南本の蒐集を持つてゐる所として亞細亞協會の圖書館があるが、その目録は別に東洋文化研究所紀要第五冊に發表する。東洋現~~代~~語學校(Ecole Nationale des Langues Orientales Vivantes)の圖書館にも蒐集があるが、puôc-ngũ(ローマ字)が多く、漢文・字喃の文獻としては、CH. 1348 (D. 25559) 大南國史演歌(嗣德三十四年 1881 致中堂刊)、CH. 1048 (A. 14073) 皇越地輿誌(二卷一本)、CH. 1049 (A. 14095) 南圻六省地輿志(一本)など極めて僅かを數くるに過ぎない。但し同校には

前掲 A43 に當るべき Saigon で出した嘉定報が相當にある。その年次及び號數を示せば次の如くである。

1865	nos	4—6.
1872	no	14.
1874	nos	3—24.
1875	nos	1—22, 24.
1876	nos	1, 2.
1893	nos	19—24, 26—33.
1895	nos	19—21, 32—38.
1897	nos	27, 42, 43, 49.
1898	nos	6, 7, 12, 15, 17, 20.
1899	nos	50, 52.
1900	nos	1—3, 5, 7, 10—16, 23, 25—30, 32, 34—41, 47—52.
1901	nos	53 (1 <sup>er</sup> janv.), 1 (4 nov.), 5—9.
1902	nos	11, 12, 17—19, 21—24, 26, 28, 29, 32, 35—38, 40—42, 44, 46—49, 51, 52.

1903 nos 1-6, 8, 9, 11-13, 15-21, 23-28, 31-33, 36  
-38, 41-51.

1904 nos 1-17, 19-24, 26-29, 31-35, 38, 40, 42, 47  
-50.

1905 nos 2-4, 13-20, 23, 28, 29, 31-34, 37, 38, 40,  
42, 44-52.

1906 nos 1-3, 4-8, 11-16, 19-22, 24, 25, 27-30,  
32-37, 41-51.

1908 nos 2-4, 7-18, 20-24, 26, 27, 30-32, 34-51.

1909 nos 1-24, 26-33, 35-49.

(東京大學教授)